



96号

あいさつで親しみ
広がるまちづくり

発行日：令和元年10月1日
発行：成城地区身近なまちづくり推進協議会
ミニコミ紙編集委員会
事務局：成城まちづくりセンター
(TEL：3482-1348)

おせち

暑かった夏も終わると涼しい秋。そしてすぐに年の瀬が...。
ちょっと早いですが、“おせち”について調べてみました。



三つ肴

※ 祝い肴といって、おめでたくおせちには欠かせません。

◆ 黒まめ
健康でマメに働けるように。

◆ 数の子
子孫繁栄の願い。

◆ 田作り(ごまめ)
「五万米」の字をあて、豊作祈願。
魚弱(いわし)を田んぼに撒いたら豊作となったため。

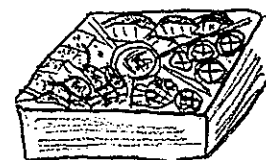
関東：濃口正油、石砂糖
関西：薄口正油、だし
味つけが違いますね。

重箱は三段が一般的!?



一の重

三つ肴(黒まめ、数の子、ごまめ)、
かまぼこ、伊達巻など。



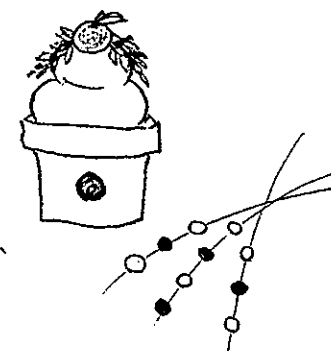
二の重

ぶりの照り焼き、鯛、海老、
たまご、きんぴんなど。



三の重

煮しめ

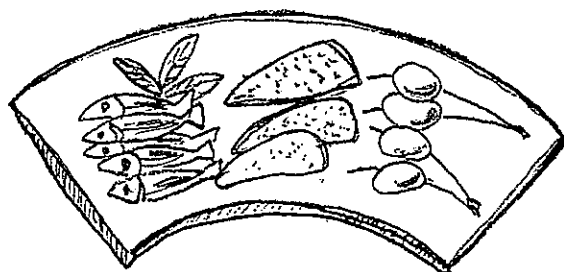
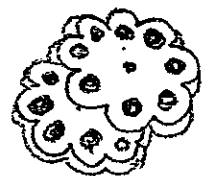


〈三つ肴〉の他にもお正月なら
ではのおめでたい米料理が...

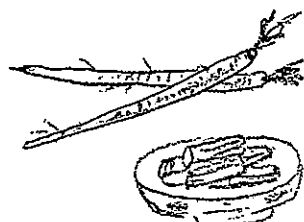
● きんとん
黄金色の塊で商売繁盛。

● れんこん
将来の見通しが良くなりますように。

● 昆布巻き
昆布を「喜ぶ」にかけた
語呂合わせ。
「養老昆布」で長寿の
意味も。



◆ 叩きごぼう
土地に根付いて安泰に暮らす。
家内安全の願い。
叩いて開くことから開運も。



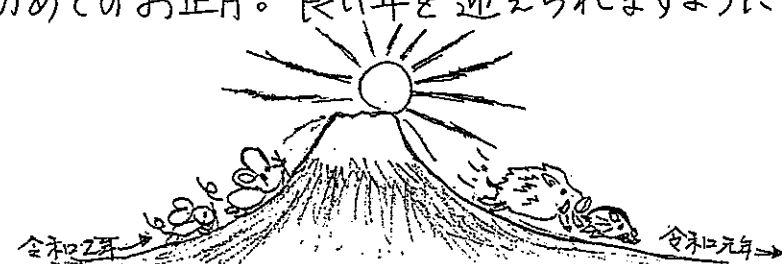
✿ 関東の〈三つ肴〉は黒まめ、数の子、ごまめ。
関西ではごまめの代わりに叩きごぼうだとか。

“おせち”は年神様に供え、
新年を祝います。

1月1日にごちそうを食べますが、

「お年取り」や「年取り膳」として12月31日に
ごちそうのどころもあるようです。その土地ならではの
ハレの産物で新年を迎えます。皆さんの家では
どんなおせちでしょうか？

令和二年、子年を迎えます。令和になって
初めてのお正月。良い年を迎えられますように。

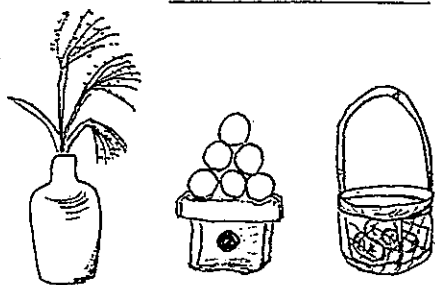


秋です。秋と言えばこんなこと... 集めてみました。



秋は空が澄み渡り、月の高さも程よい季節。平安時代、宮中では盃に月を映し、宴が行われていたそうです。

月夜の呼び方 ^{じゅうごや}十五夜 旧暦8/15は『中秋の名月』と呼ばれ、月に収穫の感謝を捧げました。
^{じゅうみや}十三夜 十五夜のひと月後『後の名月』。十五夜だけのお月見は『片見月』と呼ばれ、必ず二夜共お月見する習慣でした。



お供え
 ススキ(魔よけ), 里芋・栗・枝豆(旬のもの)
 団子(関東は丸、関西は先が尖った里芋形、15個をピラミッドに積み上げる)

『お月見泥棒』十五夜だけ子どもはお供えやお団子を盗ってもよいとされていました。月の美しさに免じて、ということでしょうか...

世田谷文学館

(南鳥山1-10-10)

京王線『芦花公園駅』から徒歩5分、木立の中のお屋敷の門の奥に文学館があります。

大きなガラス越しに日本庭園が広がり、悠々と泳ぐ鯉や四季折々の花々が眺められます。

- 1F 常設展: 世田谷ゆかりの作家たちの手紙など
 - 2F 企画展: 今年10/12~12/22は『小松左京展』
- 絵本室も充実しています。

* 本数は少なめですが成城学園前駅からバスも出ています。(ウテナ前下車)



ご近所の神社では秋の爽りを祝うこんなお祭りが...

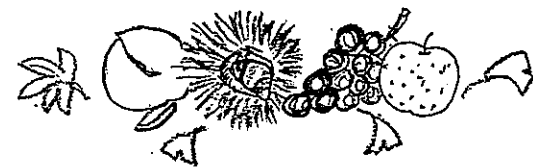
三峯神社 10/6(日)『大祭』(露店数店) 宮みこし、子供みこし、山車、太鼓車 (石4-6-1) 12:00~

祖師谷神明社 10/12(土) 10/13(日)『大祭』(露店20店位) 宮みこし、山車、太鼓車 (祖師谷5-1-7) 12:00~

氷川神社 10/20(日)『大祭』(露店20店以上) (喜多見4-26-1) 12:00 みこし(雨天中止) 16:30 里神楽(雨天中止)



紅葉狩り、果物狩りなどのレジャーや温泉など、秋は行楽地へのお出かけシーズン。でも遠出しなくても楽しめる秋のあれこれが見つかりました。身近にある秋のお楽しみ、ちおと探してみませんか?



活動報告

7/3(水) 第4回健康講座「暑さに負けない体作り」

活動予定

10/30(水) 放置自転車クリーンキャンペーン

11/21(木) 歩行会「砦の知られざる道を歩く」
 座頭ころがし坂~静嘉堂文庫~玉川大師

~爽りの秋~ ステキな日々をお過ごしください~